

「重粒子線治療装置（炭素線）の製造」 入札結果の概要

1 入札結果（総合評価方式）

総合評価審査 評価項目	配点	株式会社 東芝 (受付番号 1)	株式会社日立製作所 (受付番号 2)	三菱電機株式会社 (受付番号 4)
1.装置の製造に関する事項	20	17.50	16.25	11.25
2.装置の性能及び運用に関する事項	180	142.50	138.75	97.50
3.装置の価格及び費用に関する事項 (a+b)	800	715.49 (8,584,044,000円)	588.09 (10,735,234,000円)	750.00 (8,915,000,000円)
装置の入札価格 (a)	(750)	(665.49) (7,455,000,000円)	(563.84) (8,799,000,000円)	(750.00) (6,615,000,000円)
装置の点検・保守及びリプレース等の費用 (b)	(50)	(50.00) (1,129,044,000円)	(24.25) (1,936,234,000円)	(0.00) (2,300,000,000円)
合計	1000	875.49	743.09	858.75
落札者決定	-	○		

※ 住友重機械工業株式会社（受付番号3）については、入札（開札）後に当該入札参加者から辞退の意思が表明されたため、提案が仕様書をすべて満たすことが確認できず、基礎審査において失格となった。

2 総合評価審査の結果概要

- 神奈川県における重粒子線治療施設は、研究施設ではなく、治療に特化した施設として、今後数十年間にわたり、運用を続けることを前提としている。
- そこで、採算性が確保され、安定して多くの患者に治療を提供できる装置となるよう、仕様書において、高いレベルの技術を詳細に求めたことに加えて、性能・運用面では治療の効率化を重視し、価格・費用面では点検・保守等の費用を含めて、総合評価審査の項目を設定した。
- 「1 装置の製造に関する事項」では、受付番号1は適切な装置の配置が提案されていることや、本業務に専念できる事業体制の構築していることが特に評価され、最も高い得点を得た。
- 「2 装置の性能及び運用に関する事項」では、受付番号1はスケジューリング機能により最適な計画の立案とスタッフの負荷を軽減できる提案がされているなど治療効率化に関する提案を特に高く評価され、最も高い得点を得た。受付番号2は、特に加速器において効率化が図られる優れた技術提案が高く評価された。受付番号4は、治療効率化の面で加点評価に値する提案が受付番号1や2に比べ少なかった。
- 「3 装置の価格及び費用に関する事項」では、点検・保守及びリプレース等の費用では受付番号1が最も低廉であったが、装置本体が最も低価格であった受付番号4が最も高い得点を得た。
- 以上の項目を総計した結果、装置の製造に関する事項、性能及び運用に関する事項、価格に及び費用に関する事項のすべての項目でバランスよく得点した受付番号1が最も高得点となった。
- なお、いずれの提案も仕様書で求めた性能を満たしていることを基礎審査において確認しており、高いレベルの技術力を持った提案であった。